

審議会等の会議の記録

会議の名称	令和5年度第2回図書館協議会
開催日時	令和6年1月16日(火)午後2時00分～3時30分
開催場所	伊勢崎市図書館2階集会室
出席者氏名	(委員)佐塚委員長、栗林副委員長、河原委員、宮川委員、菊池委員、斎藤委員、金井委員、稲葉委員、塩谷委員 (事務局)和佐田図書館課長、井上管理係長、町田奉仕係長、勢藤市史編さん係長、金井主査、小林主査
傍聴人数	0人(公開)
会議の議題	利用者アンケートの結果について
会議資料の内容	令和5年度伊勢崎市図書館利用者アンケート 実施結果報告書
会議における議事の経過及び発言の要旨	<p>1. 開会</p> <p>2. 委員長挨拶</p> <p>3. 利用者アンケートの結果について 令和5年11月3日から11月末日まで行った利用者アンケートの回答について結果と考察を説明した。</p> <p>4. その他 (1) 野田議員による中心市街地にぎわい創出拠点整備についての一般質問及び市長答弁の報告 (2) 新図書館建設に係る意見聴取案説明</p> <p>7. 閉会 以上、事務局から報告を受け、意見を交換し、了承した。</p> <p>(意見の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート回答方法の所感について説明した。 ・学習室での飲食について協議した。 ・図書館ごとに特色があるほか、休館日がずれていることで必ずどこか利用できるところが非常によい。 ・市内で資料を融通し合うだけでなく、市外の図書館から資料を用意してもらえるので助かる。 ・駐車場確保の要望に対し、今後の方針及び境図書館の駐車場拡充について説明した。 ・新館建設によって旧伊勢崎町に資本が投下されることに対し、赤堀・あずま・境の図書館利用者に伊勢崎市図書館が新しくなるメリットを伝え、要望など聞いておきたい。 ・伊勢崎市図書館の書庫の状況について説明した。 ・赤堀・あずま・境の図書館でもアンケートを取った方がよい。 ・移動図書館について協議した。 ・市内図書館の選書調整について説明した。 ・多目的トイレを車いすの人も使いやすくしてほしい。 ・拠点の新設や資料活用による読書機会の増加について協議し

た。

- ・電子図書館の導入事例と今後の方針について説明した。
- ・電子図書館を例とした学習場所の確保が不登校など社会との繋がりがない児童への繋がりになることが示された。
- ・伊勢崎は桐生や太田と比べて郷土資料の蔵書が突出して多く、市販の書籍と違って郷土資料は細かな目配せをしていないと集まらないためすごい。
- ・2018年ぐらいで伊勢崎は太田に蔵書の冊数で抜かれている。書庫の余力が問題だと思われる。
- ・中心市街地にぎわい創出拠点整備について親子が来たくくなるような楽しい施設にしてほしい。
- ・愛着を持っている方が多いので、新館ができた後も今の図書館の建物を残して有効活用してほしい。
- ・織物関係資料の蔵書が充実していると新館ができた際に織物産業伝承施設と図書館のつながりが出てよい。
- ・意見聴取を赤堀・あずま・境図書館の職員にも行い、各館に無いものや要望を聞くことで、新しくできる図書館が伊勢崎市全体の図書館として求められる機能や役割を持てるようにしてほしい。